

目 次

ア.	学則変更（収容定員変更）の内容	… p 1
イ.	学則変更（収容定員変更）の必要性	… p 1
ウ.	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	… p 2

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

（１）本学は、近年の受験希望者の状況を踏まえ、令和４（2022）年度入学生から、人間生活学部人間生活学科の入学定員を削減し、文学部英語文化学科、文学部日本語・日本文学科、文学部文化総合学科の入学定員の増加を行い、収容定員を次のとおり変更する。なお、大学全体としての収容定員総数の変更はない。

学 部	学 科	入学定員			収容定員
		変更前	変更後	増減	
文 学 部	英語文化学科	80 名	<u>90 名</u>	10 名	360 名
	日本語・日本文学科	80 名	<u>90 名</u>	10 名	360 名
	文化総合学科	80 名	<u>90 名</u>	10 名	360 名
人間生活学部	人間生活学科	80 名	<u>50 名</u>	△30 名	200 名
	食物栄養学科	80 名	80 名	—	320 名
	子ども教育学科	80 名	80 名	—	320 名
合計		480 名	480 名		1,920 名

イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

藤女子大学は、キリスト教的世界観や人間観を土台として、女性の全人的高等教育を通して、広く人類社会に対する愛と奉仕に生きる高い知性と豊かな人間性を備えた女性の育成を使命としており、昭和 36（1961）年 4 月の開設以来、北海道における女子教育の一翼を担ってきた。北 16 条キャンパス（札幌市）には文学部 3 学科、花川キャンパス（石狩市）には人間生活学部 3 学科を設置し、これまでも社会の多様な場で活躍する多くの人材を輩出している。

文学部英語文化学科、日本語・日本文学科、文化総合学科の 3 学科及び人間生活学部人間生活学科には、それぞれに次のような特徴がある。

英語文化学科は、大学設置以来、文学部の中核を担ってきた学科で、英語力や英語力を活かした専門的知識を身につけ、女性が社会で活躍するキャリアを築いていくことができる教育を提供している。

日本語・日本文学科も大学設置当初から開設されており、古典から現代までの充実した講義・演習を開講し、歴史・社会・文化・地域といった諸分野をも視野に入れ、日本語と

日本文学の広くて深い探求が行える教育を提供している。教育職員免許では、国語科の教員採用率が高く、多くの卒業生が北海道の教育を支えている。北海道の私立大学では唯一、高校教諭「書道」の養成課程を有している。

文化総合学科は平成 12（2000）年度に開設し、現代の社会と文化を地球規模で多面的に学び、今日の社会の諸問題に対して柔軟でバランスのとれた対応ができる人材の育成を行っている。入学時には興味のある学問分野や将来像を明確に絞り切れていなかった学生も様々な学問を横断的に学ぶことで卒業時には社会に貢献できる人材として輩出している。

人間生活学科は平成 4（1992）年度に開設し、家政をベースに現代社会における多様な生活課題解決のため、ライフスタイルをデザインする能力、様々な方々をサポートできるプロフェッショナルな人材を育成している。教育職員免許（家庭）、社会福祉士等の資格取得が可能であるが、その中でも家庭科教員養成については長い歴史と実績があり、一種免許状は北海道教育大学と本学のみとなっており、教員採用率も高い。

開設以降、4 学科では入学者選抜の機能を十分に果たすことができるだけの志願者確保の維持に努めてきている。最近 3 年間における文学部の定員充足率は、18 歳人口減少の影響は少なく、想定する以上の入学希望者が入学する状況であり、いずれも 1.00 倍を超える結果となっている。一方、人間生活学部人間生活学科においては、キャンパスの立地条件に加え、北海道内における資格系学部・学科の増設、18 歳人口減少等の影響もあり、入学定員を確保することが厳しい状況にある。（【資料 1】参照）

以上のことから、人間生活学部人間生活学科の入学定員を減らし、文学部英語文化学科、日本語・日本文学科、文化総合学科の入学定員を増やすことにより、本学志願者のニーズを充たすと共に、学科間の入学定員充足率のアンバランスを解消し、大学全体として教育の質的充実を実現することができる。大学に対する社会的使命として、受験生からの受け入れ要請に応えつつ教育の質を保証していくためには現行の受け入れ水準を上回らないことが重要である。今回定員を変更しない学科も含め、全ての学科において定員充足率が 1.00 倍を超えないよう定員を適正に管理するということが重要であり、これらを総合的に考慮し、収容定員の変更を行うこととした。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

今回の学則変更（収容定員変更）に伴うカリキュラム、開講科目、学科ごとの教員数等教育課程の変更はない。

【資料1】定員変更となる学科の入学定員、志願者数、合格者数、入学者数及び定員充足率の推移（過去5年）

学部・学科	年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度 令和 元年度	令和 2年度
	区分					
文学部 英語文化学科	入学定員	80	80	80	80	80
	志願者数	337	358	354	350	376
	合格者数	216	214	201	224	235
	入学者数	87	102	93	96	94
	充足率（%）	1.09	1.28	1.16	1.2	1.18
文学部 日本語・日本 文学科	入学定員	80	80	80	80	80
	志願者数	330	316	292	331	373
	合格者数	268	241	224	285	306
	入学者数	102	104	83	99	119
	充足率（%）	1.28	1.3	1.04	1.23	1.49
文学部 文化総合学科	入学定員	80	80	80	80	80
	志願者数	303	282	314	345	376
	合格者数	208	233	231	201	222
	入学者数	94	89	107	98	93
	充足率（%）	1.18	1.11	1.34	1.23	1.16
文学部充足率		1.18	1.23	1.18	1.20	1.28
人間生活学部 人間生活学科	入学定員	80	80	80	80	80
	志願者数	251	272	257	240	231
	合格者数	233	247	237	219	222
	入学者数	63	58	57	61	70
	充足率（%）	0.79	0.73	0.71	0.76	0.88